

## ○ 有松まちづくりの会

### ①平成29年度有松まちづくりの会会員数（財務部発表）

29年6月25日現在で232名（入会7名、脱会12名）と報告がありました。

### ②全国町並みゼミ関係

#### ○よなべ談義会場決まる（有松事務局報告）

第2日目（11月18日）の分科会後に行われる「よなべ談義」の会場の報告がありました。

- ・寿限無 第1分科会（これからの町並み保存）
- ・庄九郎 第2分科会（伝統産業の継承と町並み）
- ・やまと 第3分科会（町並みと山車・まつり）

### ③ホームページ「有松のまち」に英、中、韓国語が載る（広報部報告）

かねてから準備を進めていた外国語が掲載されました。

## ○ 重伝建推進委員会

### ①平成29年第1回「名古屋市伝統的建造物群保存地区保存審議会」開かれる（6月15日）

名古屋市伝統的建造物群保存地区保存審議会は、学識経験者2名、建築士2名、地域代表5名の計9名の委員により、平成27年より必要に応じて年数回開催されています。

今回は保存計画の変更について、また平成30年度以降の修理修景事業の相談案件について報告された後、現地視察が行われました。

これから有松の町並みを保存していくにあたって、画一的な基準を設けることは難しく、建造物ごとの時代や役割など、一軒一軒の特性に応じて修理修景を行うために専門的な知識や慎重な検討が必要です。重伝建の重さを再認識する審議会でした。（委員談）

## ○ 有松桶狭間観光振興協議会役員会（6月27日）

### ①29年度 有松・桶狭間の観光魅力向上事業について（市観光推進室からの説明）

30年度に観光魅力向上事業の自走化（地元運営）に向け、今年度は、・NPO法人の設立検討、・観光案内処の実証試験、・イベントの開催、・観光基礎環境の整備等について説明があり、地元要望を取り入れ実施したいと説明がありました。

当会は来月要望を出すことになりました。

なお、観光案内処は従来通りオープンされます。

### ②有松・桶狭間地区にNPO法人設立の検討始まる

有松地区は、既に設立されているNPO法人「コンソーシアム有松鳴海紋」（理事長：中村倭子）を、有松を包括する業務に拡大した法人に変更する方向で検討する。（中村理事長了解済み）

桶狭間地区は、桶狭間古戦場保存会（会長：梶野泉）を主体にNPO法人化する方向で検討が始まりました。

両日とも快晴の中、初日に河村市長の開会挨拶で始まり、2日目には大村知事が訪れ、絞りまつりを盛り上げていただきました。今年の絞りまつり来場者は、土曜日4万人、日曜日5万人、計9万人と発表され、昨年より1万人増となりました。特に日曜日に若い人が多くなったようです。

### ①絞り体験

今年は祇園寺での雪花絞り体験、早恒染色の絞り教室、楽市楽座の絞り手ぬぐい体験が企画されました。体験教室は大変好評で、大勢の参加者がありました。参加者は、染め上ったばかりの自作の絞りを乾かしながら、自慢げに持ち帰っていました。

来年はもっと拡充されることが期待されます。

### ②What's重伝建

昨年7月、有松の町並みが重伝建の選定を受けたことにちなみ、重伝建コーナーが山田薬局の前に設けられました。立ち寄られた方は熱心に説明を聞いていました。

### ③花魁が有松東海道を歩く

花魁道中一行が有松東海道を往復し、まつりに華を添えていました。

### ④近隣学校から大勢の「助っ人」

名古屋情報専門学校、桜花学園、クラーク記念国際高校から大勢の助っ人（ボランティア）を出していただき、各イベントの受付、パレードの警備、その他で活躍してもらいました。

情報専門学校側の意義として、「地元への貢献活動を通じて、生徒のコミュニケーション能力アップ」を上げていました。

### ⑤ロボカップ

7月に開催される「ロボカップ2017名古屋大会」実行委員会が有松絞りとコラボし、大会をPRしました。

### ⑥町並みツアー（有松あないびとの会）

644人がツアーに参加し有松の町並みを見学し、案内したあないびとは延べ66名でした。見学後、完歩者に「有松よもやまばなし」第20号が贈られました。

（「有松よもやまばなし」は、ホームページ「有松のまち」の「町歩きガイド」に第1号から掲載されています。）

### ⑦絞りの実演

伝統工芸士の絞り実演と未来を担う若手後継者による絞り実演が行われていました。



梅雨時期にも関わらず好天に恵まれ、楽しくも充実した研修でした。今回はうだつの上がる町並みの美濃市、中山道の太田宿と鵜沼宿を訪れました。

有松を出発して1時間半程、「有松クイズ」で車内が和む中、先ず美濃市に着きました。現地ガイドの方の丁寧な解説を聞きながら、「目の字」の町を回りました。うだつの見事さ、種類の多さに感心させられると共に、「うだつは、連続した建屋では一軒おきに建屋の両脇に設置されていることから、真に防火のためである」など私たちが有松でガイドする上でも参考になる話が満載でした。

次に、太田の渡しで有名な太田宿に行きました。昼食の後、脇本陣林家附属屋の内部を見学し、柘形街道近くの祐泉寺に立ち寄り、志賀重昂が木曾川を日本ラインと名付けたことを知りました。

最後の鵜沼宿は、近年整備が進められたきれいな町並みでした。そこで出会った90歳近くの地元ガイドの方の熱気あふれる説明に感激しながら旅を終えました。



鵜沼宿で芭蕉句碑の説明を聞く

## ○ 「信長攻路」イベント開催（6月11日、名古屋市主催）

河村市長肝いりの桶狭間の戦い再現イベント「人生大逆転街道 信長攻路」が開かれました。

朝4時清州城で少人数で出発する「出陣」を行い、午前8時熱田神宮で「戦勝祈願」をし、桶狭間で「決戦」第一幕（古戦場公園から長福寺までの行軍）と決戦第二幕（義元を討つ）の再現劇が行われました。

「決戦」第一幕では、おもてなし武将隊の織田信長が馬に乗り、今川軍に向け行軍し、桶狭間古戦場保存会の皆様などが甲冑姿で続きました。

なお、清州城から桶狭間までの「信長攻路」に10か所の銘板が設置されました。



「信長攻路」を説明する河村市長

## ○ 寿限無茶屋で「上方落語・九雀亭」開催（6月10日）

有松東海道の中ほどにある寿限無茶屋さんは、手打ちうどんの美味しいお店で、店舗は明治時代に建てられた伝統的建造物です。その古い町家を使った催しを模索している店主の服部明治さんの発案で、上方落語家の桂九雀さんを招いての落語会が開かれました。

九雀さんは有松小学校卒業で、服部さんとは同級生の間柄です。

寿限無茶屋の座敷に設けられた会場へ九雀さんは三味線の出囃子に乗って登場。有松で過ごした少年時代のことを懐かし気に話されたのち、「金明竹」「七度狐」「青菜」の三題を披露されました。間近の高座、さすがの大迫力で同級生も含めた50人を超える満席の観客を魅了しました。次回は9月9日に予定されています。



桂 九雀



## ○ 観光案内処のイベント

### ① 絞りの鼻緒づくり (6月4日)

絞りで鼻緒を作り、新しい下駄にすげ、お持ち帰りいただきました。

### ② 「有松まち歩き」 (6月18日)

有松あないびとの会の案内で、町歩きを楽しみました。

### ③ 折り紙づくり (6月18日)

参加者は、先生の指導を受けながら、折り紙で鶴やリボンを作りました。



折り紙を習う

## ○ 催事・行事の予定

- ・ 7月02日 (日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 有松商工会
- ・ 7月06日 (木) 13:30 全国町並みゼミ 第4回幹事会 コミセン
- ・ 7月16日 (日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 有松商工会
- ・ 7月17日 (月) 13:30 有松寄席 竹田邸三番蔵 第2回目17:00 問合せ623-2511
- 〃 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・ 7月23日 (日) 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- ・ 7月24日 (月) 18:00 重伝建推進委員会 コミセン
- 〃 19:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・ 7月25日 (火) 18:00 有松桶狭間観光振興協議会 役員会 絞会館

発行者：竹田嘉兵衛 (有松まちづくりの会 副会長)

編集者：加藤 一成 (有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail  
: 有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索